

## 第四回ネットワーク分科会 議事要旨

### 1. 日時

令和2年9月4日（金）13：00～13：55

### 2. 場所

WEB 会議による開催

### 3. 出席者

東京都関係各局、通信事業者等

### 4. 議題

#### (1) 東京都の取組状況の報告

- ・道路照明柱アセットの進め方について
- ・第二回スマート東京・TOKYO Data Highway 戦略推進協議会報告について
- ・note を活用した情報発信について

#### (2) 道路照明柱等への共用アンテナ設置について（株式会社 JTOWER 説明）

#### (3) その他

### 5. 議事概要

#### (1) 東京都の取組状況の報告

東京都から取組状況について、以下のとおり報告を行った。

##### ○道路照明柱アセットの進め方について

- ・道路照明柱へアンテナ設置する場合の事務フロー案を作成した。差し支えなければ、今後この方法で進めていきたい。
- ・今後のアセット開放については、スマート東京先行実施エリアでの展開を検討している。
- ・強度検討は、各通信事業者等が道路照明柱の種類に応じてそれぞれ1本検討し、以後同型の道路照明柱にアンテナを設置する場合、強度検討を免除することとする。
- ・強度検討の費用は原則原因者負担とし、アンテナ添架する柱への削孔や溶接による設置は認めない。

##### ○第二回スマート東京・TOKYO Data Highway 戦略推進協議会報告について

- ・冒頭村井座長より、今般のコロナウイルス禍により、世の中のデジタルトランスフォーメーションが劇的に進んだ旨のご発言があった。
- ・会議では、東京都の取組報告をした後、各委員より、それぞれの専門分野についてご説明いただいた。
- ・会議の中で、座長より市民と一緒に作る東京都の取組は画期的であると評価いた

だくとともに、各委員より、官民連携の重要性、生活者視点からのテクノロジーの活用、5Gの普及によりオンライン診療で多角的な診療が可能になること、などについてご発言いただいた。

○noteを活用した情報発信について

- ・ 戦略政策情報推進本部ICT推進部次世代通信推進課の事業について、都民の皆様にご理解いただくとともに、コメント欄の内容を事業展開の参考にするため、noteを活用した情報発信を開始した。
- ・ 今後、noteの認知度の向上を図るとともに、事業内容や進捗を継続的に発信していく。

道路照明柱アセットの進め方について、以下の質疑があった。

○通信事業者等より質問

- ・ 道路照明柱の開放方法として、今後一斉に展開するのか、まずはトライアル的に一部エリアで行うのかを伺いたい。
- ・ 道路照明柱について、アセット開放とスマートポールへのリプレースを、どのように住み分けするのか教えていただきたい。
- ・ 現在民間事業者が先行・試行設置しているスマートポールは、拡大するのか伺いたい。
- ・ 道路照明柱の設置までのフローは、トライアル的に行うという認識でいいか。
- ・ 道路照明柱の強度検討は、基礎の部分も含めてメーカーに依頼すればいいか。
- ・ 今回のフローとアセット開放を実際に開始するタイミングを教えていただきたい。

○東京都より回答

- ・ 道路照明柱の開放方法について、まずは西新宿の中で数本トライアルとして実施し、課題を解決しながら今後の面展開や他エリアへの展開方法を考えていきたい。
- ・ アセット開放とスマートポールの住み分けについて、来年度、コスト縮減策を見据えながら都の直営のスマートポール設置を検討するとしても、引き続きアセット開放は続けていくこととなる。
- ・ 民間事業者のスマートポール設置拡大について、一つの選択肢として考えているが、設置には全体の方針の整理や計画が必要となる。現在、様々な可能性を検討しているところである。
- ・ 道路照明柱の設置までのフローについて、今回はトライアル的な実施であり、修正が必要な点は適宜改善していく。
- ・ 道路照明柱の強度検討について、まずは基礎部分も含めてポールメーカーに依頼して問題ないという認識である。
- ・ 今回のフローとアセット開放を実際に開始するタイミングについて、まだ未定だが、そう遅くならず始められるように調整したい。

その他、道路照明柱アセットの進め方について、通信事業者等から以下のとおり要望があった。

- ・ 共同溝から電気や回線を引く際、手続きの時間短縮に向け、東京都からサポートいただきたい。

## (2) 道路照明柱等への共用アンテナ設置について

株式会社 JTOWER から、以下のとおり説明を行った。

- ・ 道路照明柱への複数通信事業者のアンテナ設置に当たっては、耐荷重等物理的な課題があると認識しており、その解決策として共用アンテナ設置によるシェアリングを提案したい。
- ・ また、既存の道路照明柱へのアンテナ設置では、耐荷重等の物理的課題や景観配慮等の課題解決が難しい場合、スマートポールへの置き換えにも検討の余地があると考えている。
- ・ 地下道出入口へのアンテナ設置についても、共用アンテナの設置が可能である。

以下の質疑・要望があった。

### ○通信事業者より要望

- ・ 4社分の共用アンテナを街路灯に設置するのは、強度検討的に可能なのか。
- ・ 可能であれば、収容箱の中にバッテリーを搭載する案を検討いただきたい。

### ○株式会社 JTOWER より回答

- ・ 4社分の共用アンテナを設置することについて、今回お示しした案では、共用機は道路照明柱に搭載せず、収容箱に収容している。ただし、収容箱を設置することが本当に望ましいかという議論もあるので、強度検討的に道路照明柱に設置することができるのであれば、それも選択肢に入れ、現実的な方法を検討していきたい。
- ・ 収納箱にバッテリーを搭載することについて、検討する。

## (3) その他

東京都から、今後の開催予定について説明を行った。